



(公財)長野県長寿社会開発センター  
TEL:0261-23-6507



長野県長寿社会開発センター  
ホームページ二次元コード

令和8年2月末日現在 大北地区賛助会 会員数 116名 県全体 1,401名

## 年度末を迎えて

大北地区賛助会・会長

伊藤 佳壽美

「光陰人を待たず」と言いますが、大北地区賛助会の令和七年度活動も「あっ」という間に年度末を迎えました。ここに活動を振り返りながら、次年度や将来に向かっての指針を探りたいと思います。

本年度の活動は、事業計画に基づいて実行して参りましたが、研修旅行が出来なかつた事は残念です。旅行の新しい知識・見聞の習得・会員相互の交流等々大切な事業と考えております。

今後は、開催時期・場所・参加人員の確保等計画の策定に工夫を加えて、新しい内容で実行したいと思ひます。研修旅行は、多くの会員が参加して楽しむ、人気の人気の活動研修旅行です。研修旅行は中止になりましたが、新しい取り組みも致しました。

- ・ シニア大学講座(二学年)賛助会企画実施(わら細工体験)
- ・ タウンミーティングの賛助会の活動報告と展示を出店方法参加
- ・ ねんりんピックスポーツ(マレットゴルフ)大会に賛助会として参加
- ・ 大町市南部包括センター主催、そば切り音頭新作動画の制作に参加
- ・ 信州ねんりんピック文化・芸術交流大会交流広場の大北地区賛助会コーナーに活動の様子を展示

以上のような新しい活動を取り入れながら、事業を進めて参りましたが、会員の皆様の多様なニーズや社会参加に十分に対応出来たのか疑問です。この間大北支部事務局の佐藤様、篠原様には多大なご指導ご協力を頂き感謝申し上げます。

大北賛助会の課題は、少子高齢化の社会環境や会員の減少する中で、より魅力的で参加して楽しくなる活動の出来る組織である為に、今後の活動として他団体(市町村、社会福祉センター、ボランティアセンター等々)との連携強化を図る事も必要だと思ひます。現在ある4グループとの連携した協力体制の推進。

賛助会の事業推進の枠組みを超えた活動の構築を考慮すべきだと思ひます。この一年間会員の皆様の(ご)支援(ご)協力に感謝申し上げます。

## 会員講座に参加して

松川グループ・牛越克己

例年基本的に、秋計画されている  
△会員講座Vが、今年は十二月五日(金)に計画され、幹事会で検討を重ねたが、なかなかこれと言うテーマが出てこず、そんな中で会場を外にしたらどうかとの意見が出て、劇団四季の浅利慶太記念館見学が決まったが、十二月に入ると冬季閉鎖になるとのことと、日程を十一月二十八日(金)に変更になった。

大町郊外、温泉郷周辺にあるらしいとの情報以外、見学にも関心がない状態だったが、いい機会だと思ひ参加した。

参加者は会員を含め二十一名集まった。館長さんの熱のこもった解説に約一時間、少しの休憩を挟んで、多分見学ができないだろう倉庫、数か所を見せていただく機会に恵まれた。

まず、その規模にビックリした。大きな会場での公演に使用する舞台装置の大きさに驚かされた。それこそピスやワイヤーまでがきちっと整理されて大型トラックで全国の公演先へ、夢を届ける舞台裏を見せていただいた。

今年には既に県内二か所の公演が決まっており、日程が取れば是非、会場に足を運びたくなった。

あの、大舞台が、五千円と言うのが何とも嬉しい。



## 令和七年度 中信地区賛助会懇談会に参加して

池田グループ  
竹内 清隆

松本地区、木曾地区・大北地区賛助会の代表による懇談会が、十一月二十一日に松本合同庁舎で、開催されました。

今年は、松本地区が幹事となり、本部の役員を含め総勢二十八名の参加でした。

会議は挨拶の後、各地区の賛助会の「会報」についての説明及び質問がありました。その後、メインテーマである賛助会の問題点として①会員の減少について②役員選出について③会員が有意義に思う活動について話し合われました。

いずれの問題も個別地区の問題でなく、全体の問題であり、解決の難しさを実感しました。

そして午後は、松本大手にある「松本市立博物館(二十三年開館)」を視察しました。常設会場には、松本城を中心とした「城下町の立体パノラマ模型」などが、展示されています。

興味のある方はお出かけください。

余談です。私は、博物館近くにあった「鶴林堂書店」で、子供のころ、この書店に連れて行ってもらい、池田町には無い多くの本をまとめ買いしたことを思い出しました。あの頃に戻り、読書もしっかりしたいと感じました。

## 令和七年度「会員講座」

大町グループ  
渋谷見良典

大北賛助会の計画書では、十二月五日(劇団四季浅利慶太記念館見学)を計画していたところ見学期間は四月から十一月末までとの事にて、急遽十一月二十八日に変更して、文書を配布した所、二十一名の参加がありました。

館長さんのとても分かりやすい説明で、大道具、小道具、衣装、展示パネル等を見ながら、楽しい二時間でした。



## 劇団四季

浅利慶太記念館の見学

白馬小谷グループ

丸山萬利子

館長さんは、浅利慶太の人物像や、関わってきた人脈の凄さを熱く語られ、劇団創立から現在の歩みを写真、ポスター、舞台衣装など見ながら案内して頂き、公演時の舞台装置の保管倉庫も見学してきました。



## 会員講座「劇団四季・浅利慶太記念館」視察

池田グループ

竹内 清隆

私、正直申し上げます。記念があるのは知っていました。この近く「上原」「日向山高原」には頻繁に行っています。しかし、記念館には一度も入館したことは、ありませんでした。この会報をご覧になっている多くの方がそうではないでしょうか？

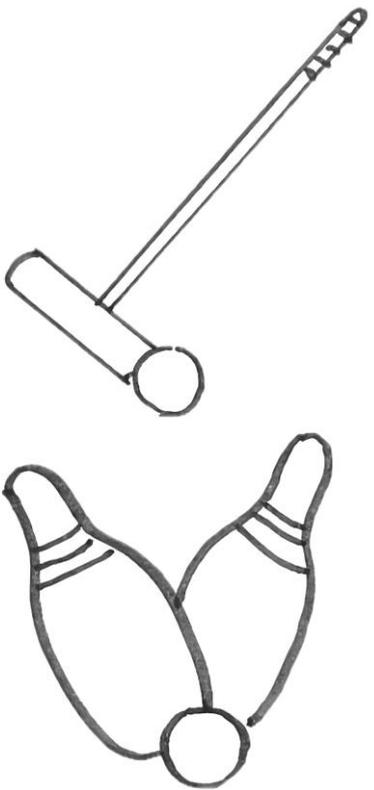
劇団四季といえば「オペラ座の怪人」「ライオンキング」「美女と野獣」などなど有名ですが、なぜ劇団四季の関係施設が大町にあるのか？疑問でした。

当日は、記念館館長から説明を受けました。（この方は、昭和電工勤務を経て劇団四季に入り、本社勤務の後資料センター所長を歴任した方です）

説明によると、（私の記憶が正しいか否か）『浅利さんは山荘兼稽古場を、当初軽井沢の設けたいと考えたようです。ところがそんな時、大学の先輩から「大町に來い」と誘われ、地域の人々との交流から、大学の先輩から（昭和四十三年）に山荘兼稽古場を設け、その後千九百九十五年に演劇資料センターを設立、さらに敷地内に「劇団四季記念館」を建設し、現在では「浅利慶太記念館」へと名称を変えている』との事でした。

この記念館には、劇団四季の歩みを伝える様々な舞台模型、写真、本などその他に、  
大道具、小道具、衣装、関係資料など十四棟の倉庫群があります。

是非一度ご覧になって下さい。（現在は休館中です。春四月になれば開館予定です。）



## オンライン会議

大町グループ

渋田見 良典

令和八年一月二十九日 令和七年度地区賛助会連絡会議及び支部事務局次長等会議を大町合同庁舎にてオンライン会議を本部、長野、北信、松本、木曾、南信州、上諏訪、上小、佐久の各委員、約四十名にて午後一時より行いました。各グループの間の交流会の促進について、発表及び質問等、大変意義ある二時間でした。今後の大北賛助会の活動に参考にしたいと思います。





## 大北学部四十四期生卒業

シニア活動推進コーディネーター

佐藤 雅法

二月四日、卒業式が行われました。

大北地域を中心とした六十代から八十代までの男性六人、女性九人の計十五人。二年間の学びを共にした仲間が在学生に見送られながら大学での経験を活かして新たな一歩踏み出すことを誓いました。

## 第六回幹事会報告 十一月八日 大町合同庁舎

- ・ 中信地区賛助会懇談会の報告 十一月二十一日 松本合同庁舎
- ・ 会員講座（劇団四季 浅利慶太記念館見学）二十一名参加
- ・ 令和七年度第二回中信地区賛助会連絡協議会開催について
- ・ スポーツ交流会（スマイルボウリング）開催について
- ・ 令和八年度シニア大学大北学部講師について
- ・ その他

## 第七回幹事会 令和八年二月十二日 大町合同庁舎

- ・ 令和七年度 地区賛助会連絡協議会について（報告）
- ・ スポーツ交流会（スマイルボウリング）について
- ・ 会報百六十五号 発行について
- ・ 令和七年度事業報告・決算報告 令和八年度事業計画・予算（案）について
- ・ 総会について 五月中旬開催予定
- ・ その他

## 今後の予定

令和八年三月二十一日

スポーツ交流会（スマイルボウリング）平公民館 講堂 九時三十分集合

## 編集後記

三寒四温が身にしみるこの頃です。三月はお彼岸ですが、一年が過ぎるのが、年々早いなあと感じております。正岡子規の句に（毎年よ 彼岸の入りに 寒いのは）とあります。皆さん風邪などひかないように